



連絡先 フォトクラブ活彩  
代表 一柳 保男  
☎ 0480-52-9334

フォトクラブ活彩は、2012年に発足しました初心者集団です。現在会員は9名で活動しています。  
栗橋コミュニティセンターにて月1回の例会と日帰りで主に風景写真の撮影会を開催しています。(ジャンルは自由)  
また、栗橋文化祭への出展と、本年6月に栗橋コミュニティセンターにて、初めての展示会を開催しました。  
カメラの取り扱いや写真の基礎・撮影テクニック、撮影場所、等々を会員各自、研究して発表しています。会員相互の親睦を図り、技術の向上を目指しています。  
今日では、身近にあるカメラです。シャッターを押せば、気軽に撮れる写真ですが、工夫次第で大きく引き伸ばして、自宅に飾り楽しんだり、作品展に応募したりしてみませんか。



連絡先 ラタンコスモス 鶯宮  
代表 中村 まさ江  
☎ 090-9859-8272  
活動日 月2回 水曜日  
(基本第1・第3水曜日)  
時間 10:00~12:00  
場所 鶯宮東コミュニティセンター(さくら)

旧鶯宮町の「趣味の籐の講座」から始まり、籐に魅せられた人達とずっと続けてきたサークルです。講座終了後は、サークルとしての文化祭などに、作品を出展していました。のんびりと各々好きなテーマの作品に取り組んでいましたが、平成28年3月・29年3月に鶯宮公民館まつりの展示の部に参加しましたところ、多くの方々の関心を呼ぶことができ、メンバーもとても刺激になりました。  
今後は、実用的なカゴ類だけでなく、インテリアの花、人形、動物、好きなキャラクター等々、新たな作品に挑戦していきたいと思えます。  
ベテランと新人8名が、和気あいあいの中、作って楽しく、自分なりの作品に思いを込め、仕上げで達成感に浸ることが、とても楽しい時間です。  
活動日はいつでも見学OKです。ラタン(籐)に興味をお持ちなら、一緒に始めてみませんか。

# まなびすとフォーラム

## 《第8回久喜市生涯学習研修大会》

今回も多くの市民の参加を得て、地域の皆様それぞれの立場から大会テーマをもとに「地域コミュニティづくり」についての活発な意見交換を行いました。

大会テーマ：深めよう絆！ 学校・家庭・地域



世代・立場を超えた参加者から活発な意見が出ました！



意見交換の結果を発表する中学生

日時：平成29年6月10日(土)午後1:20~4:30

場所：菖蒲文化会館(アミーゴ)

参加者：中学生・学校教職員・社会教育関係者・児童生徒の保護者・コミュニティ活動関係者等(約200名)



▲会場のアミーゴ

平成29年8月1日 発行

# 第14号

編集：久喜市生涯学習推進部  
発行：久喜市教育委員会

久喜市生涯学習だより

# まなびすと久喜

「まなびすと久喜」は手作り感あふれる大イベントとしてすっかり定着した感があります。私も昨年の「まなびすと久喜」では、本多静六博士について

の講演とその後のパネルディスカッションにも参加させて頂き、大変有意義な時間を過ごすことができました。  
私のライフワークでもあります本多静六は、生涯学習の先駆者でもありました。大学を退職後も常に新しい知識を追い求め、それを生かし、「世恩に報いるお礼奉公」という形で生涯現役を貫き通しました。

今から20数年前になりますが、当時菖蒲町の職員だった私は町長の随員として、日本で最初(昭和54年)に生涯学習宣言都市となった静岡県掛川市の榎村純一市長のもとを訪ねたことがあります。その際、榎村市長から「人づくり即生涯学習、まちづくり即生涯学習」という言葉を聞き、掛川市では「道路整備も生涯学習の一環だ」と言われた言葉が印象的でした。

さて、本市では平成28年11月に東京理科大学久喜キャンパス跡地の利用計画がまとまり、この場所に、久喜市子育て教育センターと久喜市生涯学習センター(いずれも仮称)が整備されることとなりました。生涯学習センターは平成31年4月オープン予定で、今後久喜市の生涯学習の中核を担う施設となりうるものです。



久喜市教育委員会 教育部長 淡谷 克美

## 生涯学習社会の実現に向けて

## 久喜市生涯学習施設紹介

★所在地 久喜市江面1616  
★電話 0480(21)3611  
(毎日興業アリーナ久喜)

★アクセス JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅西口から徒歩約30分

★平成29年度開園期間 7月15日(土)~8月20日(日)

★利用時間 9:00~17:00(最終入場16:00)

★施設概要 流水プール、ロックスライダー、スラロームスライダー、幼児プール

★利用料金 一般500円・小中学生200円  
ロッカー利用料 100円/回



### 久喜市民プール



★所在地 久喜市青葉1-2-1  
★電話 利用窓口  
(東公民館) 0480(21)8030

★アクセス 東武伊勢崎線・JR宇都宮線久喜駅 東口から徒歩30分  
朝日バス・青葉団地巡回行 青葉団地中央下車徒歩1分

★利用時間 9:00~22:00

★施設概要 会議室1・2(定員60人)  
会議室3(定員20人)  
和室1・2(定員30人)  
実習室(定員20人)

### 青葉公民館

青葉公民館は、昭和49年久喜駅東口地域の公民館活動の拠点として建てられた施設です。当時は「東公民館」の名称でしたが、平成8年に現在の「東公民館」が建設されたとき、名称を変更し「青葉公民館」となりました。青葉公民館は、公民館職員は常駐していませんが、各種団体への部屋の貸出しのほか、公民館主催の講座や青葉地区市民体育祭、公民館まつりなどの事業を実施しています。

# コミュニティ・スクールって何なの・・・？

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える複雑化・困難化した課題を解決するために、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

コミュニティ・スクールは、地域住民・保護者・学校教職員などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取組がおこなわれます。

## <学校運営協議会の主な役割>

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができる

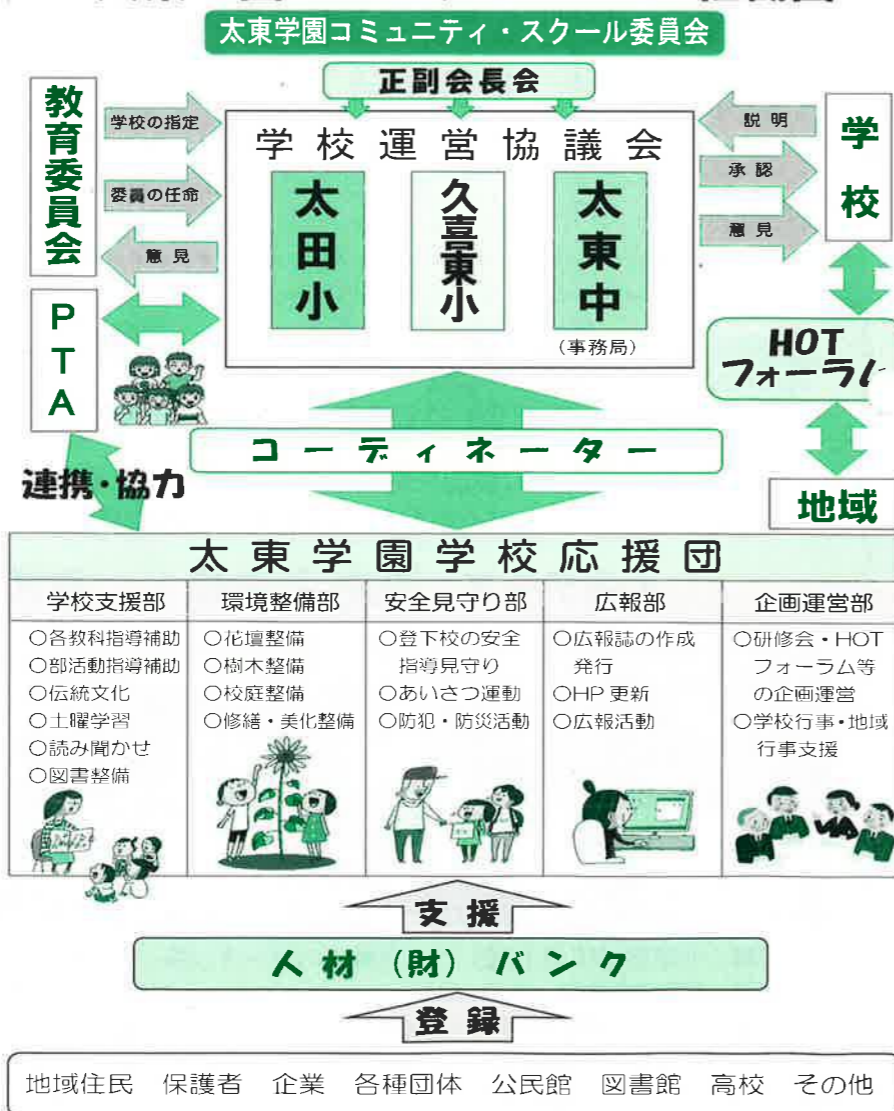
これらを通じて、学校・家庭・地域が連携を強化し、自分たちの力で学校をより良いものにしていこうとする当事者意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができ、学校や地域の活性化を図ることができます。



## 太東学園コミュニティ・スクールの例 地域・保護者・学校の熱意を結集！熟議！参画！

太東中学校区（太田小学校・久喜東小学校・太東中学校）では、3校でコミュニティ・スクールを基盤とした小中学校連携の推進が実施されています。

### 太東学園コミュニティ・スクール組織図



太東学園では、各校に設置された学校運営協議会での取組を集約・調整する太東学園コミュニティ・スクール委員会を設け、学期ごとに実施しています。また、スムーズな運営を図るため各校の学校運営協議会の代表者が集まる会議を実施しています。

### HOT (ホット) フォーラム

HOTとは、H(東小)、O(太田小)、T(太東中)の頭文字からとりました。1年に一度、地域の方々、保護者、教員が一堂に会し、よりよい学校づくりについて意見交換をします。



# 平成28年度に先行スタートした3校の取組紹介

～子どもは地域の宝～地域の子どもは地域で育てるを合い言葉に、各校の校長のリーダーシップのもと、子どもたちのより良い成長を願って、地域の方々が子どもたちに関わっています。

## 太田小学校の取組

本校は28年度に学校運営協議会は10回開催され、児童の学力の向上、教育環境の整備、安全・安心の確保に重点を置いています。①火曜日の昼休みを活用した火曜学習②安全見守りを広域に行う安全・安心の確保③ピオトープの有効活用による自然とのふれあいと樹木の剪定・草取り④学校農園を活用したえだ豆体験学習等多くのサポーター、ボランティアにより実施されました。その他川内鴻輝さんによるランニング教室や防災訓練等も実施されました。



えだ豆体験学習



自然とふれあうピオトープ



トンボの幼虫(やご)採取



安全見守り活動

## 久喜東小学校の取組

本校は既に多くの地域の方の応援を受けています。28年度の学校運営協議会は11回開催され、学習支援、環境の整備、安全・安心の確保に向けた取組を充実させました。①花を植え樹木の剪定を行う環境ボランティア②授業サポートボランティア、放課後学習ボランティア③登下校の安全を守る交通見守りボランティア等多くの方がサポートスタッフ(学校応援団)に登録し様々な活動を支援しています。地域の方へ感謝の気持ちを伝える「感謝の会」が行われました。



環境ボランティア



授業サポート(家庭科)



放課後学習ボランティア



感謝の会

## 太東中学校の取組

本校の学校運営協議会では、中学生に「何ができるか」を中心に熟議を重ねています。地域の方々が中心となった「キャリア教育」推進の体験学習の実施や「学力向上」を目的に土曜学習を進めています。環境整備は地域の方を中心に生徒、教職員共に実践しています。また太東中学校区（太田小学校・久喜東小学校・太東中学校）では28年度、太東学園コミュニティ・スクール（小中学校連携の推進）としての第一歩を踏み出し、小学校2校との協力連携した取組を推進しています。



ゲストティーチャー



環境整備作業



中学生が行う小学生への学習支援



土曜学習